



2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



極東開発のグループ構成

極東開発工業株式会社

特装車事業

85%

■ 製造・販売・サービス

- 日本トレクス㈱
- 極東開発(昆山)機械有限公司 (中国)
- MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD. (インド)
- TREX THAIRUNG CO., LTD (タイ)
- PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
- PT KYOKUTO INDOMOBIL DISTRIBUTOR INDONESIA (インドネシア)

■ サービス

- ㈱エフ・イ・テック
- 振興自動車㈱
- 井上自動車工業㈱

■ 中古車販売

- ㈱FE-ONE

■ 関連

- 極東特装車貿易(上海)有限公司 (中国)

環境事業

9%

■ リサイクル施設の建設/運転受託・メンテナンス

- 極東サービスエンジニアリング㈱
- 極東サービスエンジニアリング北海道㈱
- ㈱モリプラント
- ㈱エコファシリティ船橋

不動産賃貸等事業

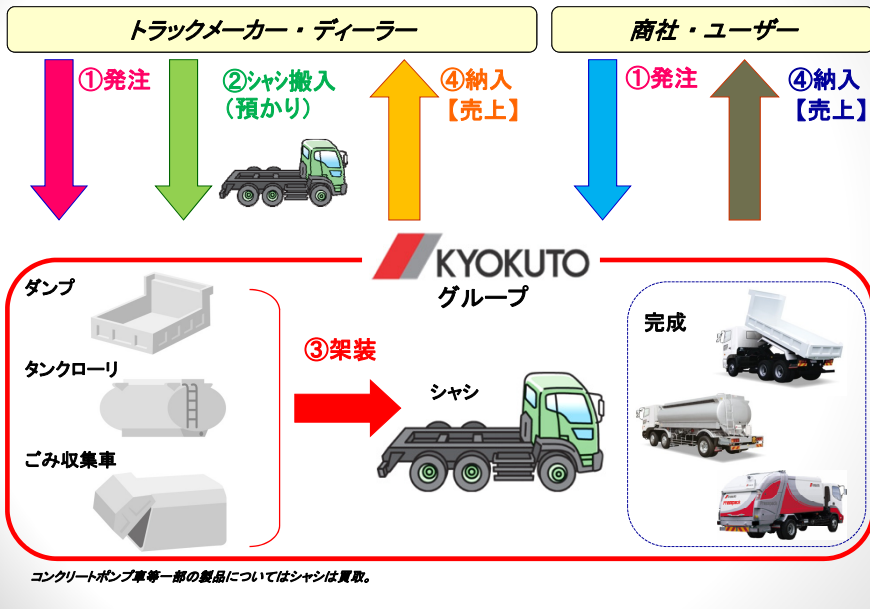
6%

■ 立体駐車装置、コインパーキング

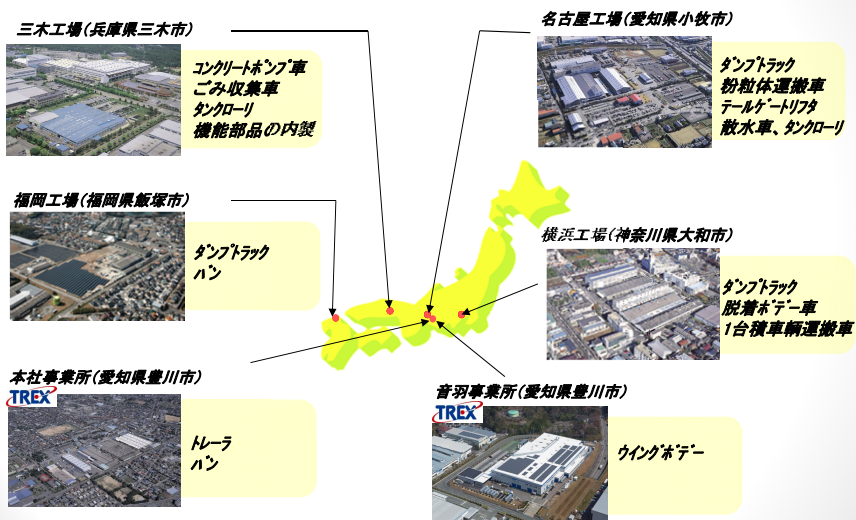
- 極東開発パーキング㈱
- ㈱エフ・イ
- ささしまライブパーキング㈱

<比率は売上構成比(2018年12月期)>

特装車事業



特装車国内生産体制



特装車事業（グループ主力製品）



特装車海外生産体制

【インド】MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD.

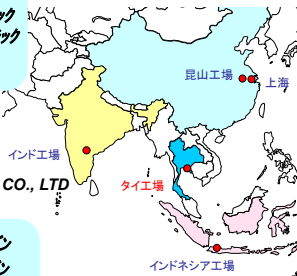


ダンプトラック
ミキサートラック

【中国】極東開発(昆山)機械有限公司



ミキサートラック



【タイ】Trex THAIRUNG(タイルーン) CO., LTD



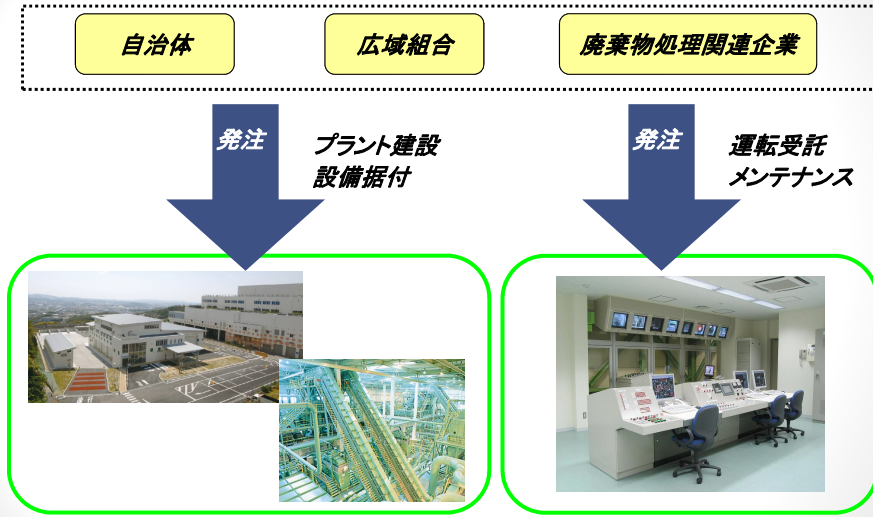
ウイングハン
10トアハン
ダンプトラック
ミキサートラック

【インドネシア】PT KYOKUTO INDO MOBIL MANUFACTURING INDONESIA

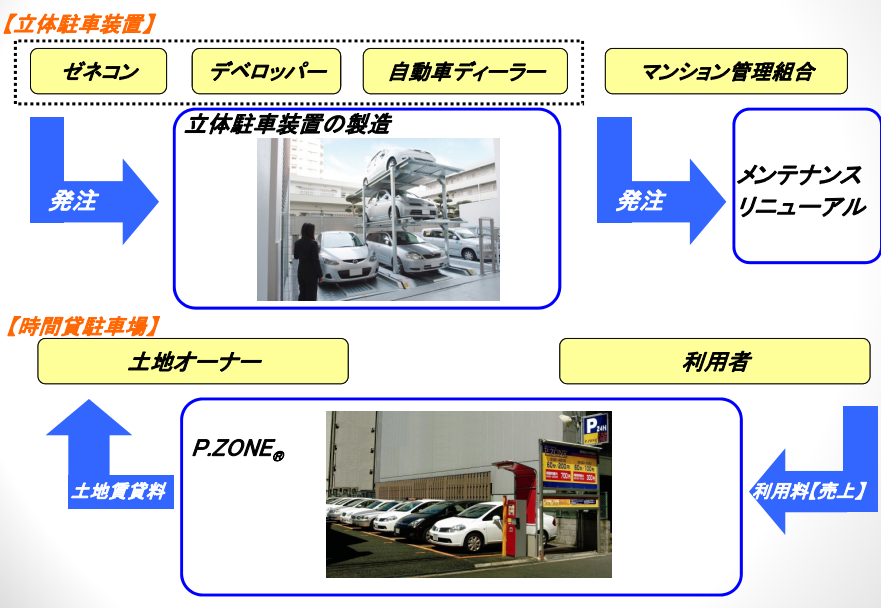


ダンプトラック
ミキサートラック
テールゲートリフタ

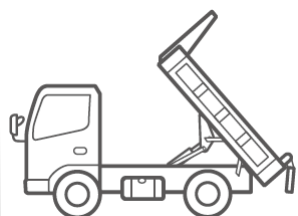
環境事業



不動産賃貸等事業

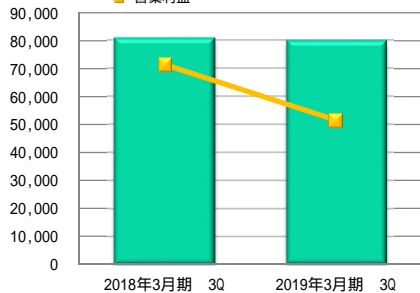


2019年3月期 第3四半期 連結決算実績



2019年3月期第3四半期 連結決算

売上高 (百万円)
営業利益 (百万円)



営業利益 (百万円)

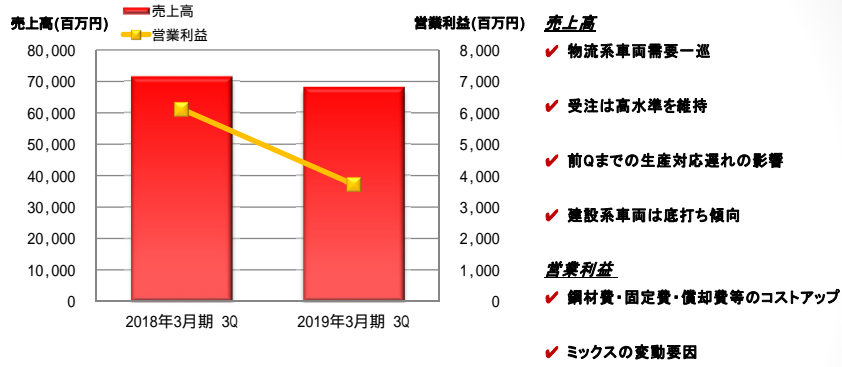
売上高 (前年比)		
✓ 特装車事業	△4.8%	△3,430百万円
✓ 環境事業	+56.7%	+2,740百万円
✓ 不動産賃貸等事業	△4.7%	△247百万円
営業利益 (前年比)		
✓ 特装車事業	△39.1%	△2,394百万円
✓ 環境事業	+79.3%	+520百万円
✓ 不動産賃貸等事業	△9.4%	△87百万円
営業外収益・費用		
✓ 営業外収益		460百万円
✓ 営業外費用		222百万円

	2018年3月期 3Q 実績	2019年3月期 3Q 実績	前年同期比増減	
売上高	81,116	80,246	△870	△1.1%
営業利益	7,154	5,158	△1,995	△27.9%
経常利益	7,465	5,396	△2,068	△27.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,201	3,631	△1,569	△30.2%

特別利益・損失		
✓ 特別利益		14百万円
✓ 特別損失		47百万円

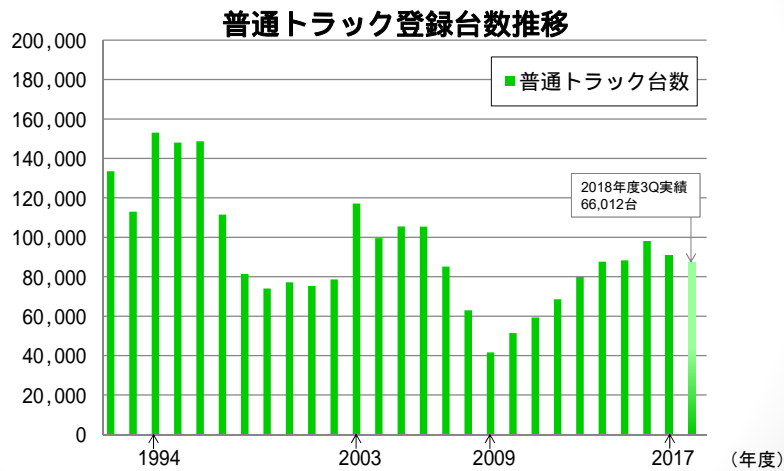
親会社株主に帰属する当期純利益 (前年比)		
✓ 法人税等		△322百万円

2018年3月期第3四半期 特装車事業

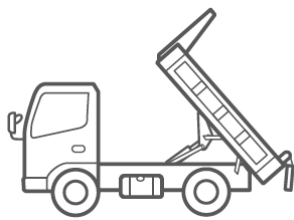


	2018年3月期 3Q実績	2019年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	71,528	68,098	△3,430	△4.8%
営業利益	6,117	3,723	△2,394	△39.1%

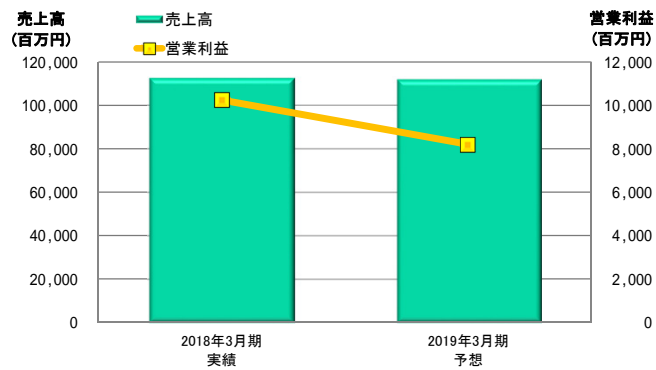
2018年3月期第3四半期 特装車事業（市場環境）



2019年3月期 連結業績予想



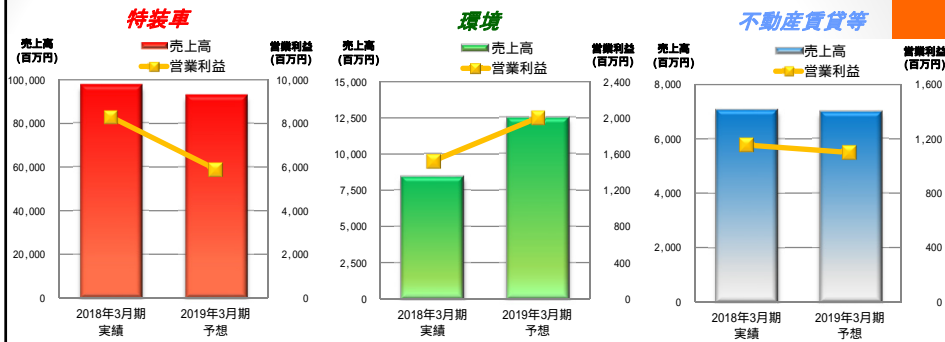
2019年3月期 連結業績予想



(参考:5月9日発表)

	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比増減		2019年3月期	前回予想比増減	
	実績	予想			前回予想		
売上高	112,890	112,000	△890	△0.8%	115,000	△3,000	△2.6%
営業利益	10,245	8,200	△2,046	△20.0%	9,500	△1,300	△13.7%
経常利益	10,330	8,500	△1,831	△17.7%	9,500	△1,000	△10.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,190	6,000	△1,190	△16.6%	6,700	△700	△10.4%

2019年3月期 セグメント別予想



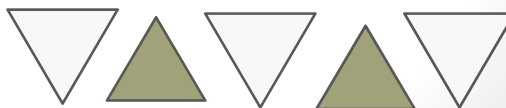
(参考:5月9日発表)

セグメント	項目	2018年3月期	2019年3月期	前年比増減		2019年3月期	前回予想比増減	
		実績	予想	前年	増減率	前回予想	増減	増減率
特装車事業	売上高	97,788	93,200	△4,586	△4.7%	96,200	△3,000	△3.1%
	営業利益	8,298	5,900	△2,398	△28.9%	7,200	△1,300	△18.1%
環境事業	売上高	8,457	12,500	+4,043	+47.8%	12,500	+0	+0.0%
	営業利益	1,522	2,000	+478	+31.4%	2,000	+0	+0.0%
不動産賃貸等事業	売上高	7,087	7,000	△87	△1.2%	7,000	+0	+0.0%
	営業利益	1,155	1,100	△55	△4.8%	1,100	+0	+0.0%
調整額	売上高	△ 641	△ 700	△59	-	△ 700	+0	-
	営業利益	△ 728	△ 800	△72	-	△ 800	+0	-

17



今後の取り組み



18

設備投資額・減価償却費・研究開発費

	2018.3期 実績	2019.3期 予想
設備投資	31億円	27億円
減価償却費	23億円	25億円
研究開発費	15億円	14億円

将来に向けての投資 国内生産体制の再整備



国内需要・製品構成の変化に対応できる効率的な生産体制の構築

赤字:2017年度実施完了案件 青字:現在進行中案件 黒字:実行済案件

海外売上の確立

● インド工場: **MITHRA KYOKUTO**

OEM生産量の確保・拡大
ボデー載替え市場の受取込み



● インドネシア工場: **KYOKUTO INDOMOBIL**

仕様の見直し、原価低減の推進

製品ラインナップの拡大
(テールゲートリフター・立体駐車装置
・ごみ収集車等)



輸出売上の拡大

- 海外戦略製品の展開
(コンクリートポンプ車、ごみ収集車)
- 現地架装・販売パートナーとの提携による販売拡大
- 未開発マーケットの開拓

昆山工場
上海

● タイ工場: **TTR**

生産・販売体制の早期確立

現地調達比率の向上による原価低減
ミキサー車追加による生産拡大。



既存海外拠点の
売上拡大・連結化

21

安全教育の拡充

従業員の安全意識を高めるために「安全体感装置」を導入。
各拠点を巡回し、本装置を活用した安全教育を実施。

【安全体感装置の種類】

- | | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| ①SS | ②チェーン巻き込まれ | ③重荷物落下 | ④回転体巻き込まれ |
| ⑤ゴーグル使用時 | ⑥落下物衝撃 | ⑦鉄板エッジ切れ | ⑧グラインダ振動衝撃 |
| ⑨残圧 | ⑩ボール盤巻き込まれ | ⑪足場及び梯子 | |



【本装置を導入することで、以下の効果を狙う】

- ・実際に危険を体験させ、その危険を知ることによって安全意識の向上を図る。
- ・定期的に使用して経験による理解を深めていき、安全意識の継続を図る。
- ・外国人作業員への安全教育に活用する。

22

TOPICS① 「4トン耐摩耗鋼板仕様リヤダンプトラック」が 「2018年度グッドデザイン賞」を受賞

本年2月より発売している「4トン耐摩耗鋼板仕様リヤダンプトラック」が、「2018年度グッドデザイン賞」を受賞。

【特長】

- ・ダンプトラックに求められている「積載量(軽量化)と耐久性の確保」という相反するニーズに対し、「剛から柔へ」の全く新しい設計思想とデザインコンセプトによって応えた車両。
- ・緩やかなRを持つ丸底デッキとサイドパネルの一体構造を実現するため、高い硬度と靱性で多くの実績を誇る耐摩耗鋼板「HARDOX」をボデーに採用。
- ・サイドゲートおよびテールゲートをスチフナ(補強柱)レスとした美しい外観。



「スッキリとした外観がダンプトラックの印象をソフトで現代的なものに変えており、機能面での優位性や耐久性の向上も含め、本来社会的な存在であるダンプトラックに対して、社会との親和性を向上させる提案となっている」点などが高く評価。

 GOOD DESIGN
AWARD 2018

23

TOPICS② 新型「30kL アルミタンクトレーラ」

【特長】

- ・タンク容量は国内規制最大容量となる30kLを確保。
- ・ワイドシングルタイヤ仕様(KL30-471SS)は最大積載量を国内トップクラスの24,500 kg確保。積載物の組み合わせ(混載)のバリエーションが増加。

2018年10月30日発表
/ 11月5日発売

➡ タンクローリのトップメーカーとして近年高まっている大容量長距離輸送のニーズに対応。



※写真はダブルタイヤ仕様・KL30-47LS

24

TOPICS③ 木質ペレットエア搬送ユニット 「JETCUBE(ジェットキューブ)」

【特長】

・バイオマス燃料として利用されている木質ペレットをエアの力で搬送することが可能。

2018年11月8日発表

/ 11月13日発売

・従来の木質ペレットの輸送・貯蔵用サイロへの搬送のようなクレーンを用いた危険な高所作業が不要。

・ユニットサイズを一般的なパレット1枚分の大きさとしたコンパクト設計。

➡ 新分野となる林業関係製品へ参入し今後の積極展開を図る。



現在の木質ペレットの積卸作業



ジェットキューブ使用イメージ



25

TOPICS④ 「湿塩散布車」

2018年12月11日発表

/ 12月18日発売

【特長】

・高速道路や自動車道等において降雪や寒冷による路面凍結を防ぐため、塩化ナトリウムと溶液を混合した凍結防止剤を散布する湿塩散布車を開発。

・溶液を積載する本体側面の樹脂製タンクは、スタイリッシュな外観と、外面に水や雪が溜まりにくい実用性を兼ね備えた当社独自の曲面タンク形状を採用。

・操作パネルにディスプレイを採用し、直感的な操作が可能。

➡ 新機種の投入により製品ラインナップの拡充を狙う。



26

TOPICS⑤ サービス支援システム「K-DaSS」

2019年1月17日発表

・特装車の稼働状況を記録・蓄積するIoT基盤を利用したサービス支援システム「K-DaSS (Kyokuto Data Sharing Service)」を開発。構成要素の一つである「サービスツールシステム」を2月に正式リリース予定。(「K-DaSS」は、「サービスツールシステム」のほか、現在実証試験を進めている「リアルタイムデータ収集」、「WEBサービス」の要素から構成。)

・「サービスツールシステム」では、当社および契約サービスステーションのサービスマンが、新開発の専用スマートフォン用アプリにより近距離無線通信機能を搭載した車両と通信することで、車両メンテナンスやデータ収集が可能。

・テールゲートリフタ「パワーゲート® G型(後部格納式) / CG型(床下格納式)」、脱着ボデー車「ハイパーインギン・フックロール®」、ごみ収集車 プレス式「プレスバック®」 / 回転板式「バックマン®」から展開。

→ 今後はシステム全体の構築および展開を通じて、「つながる特装車 (コネクティッドSPV (Special Purpose Vehicle))」に向けた取り組みを加速させる方針。



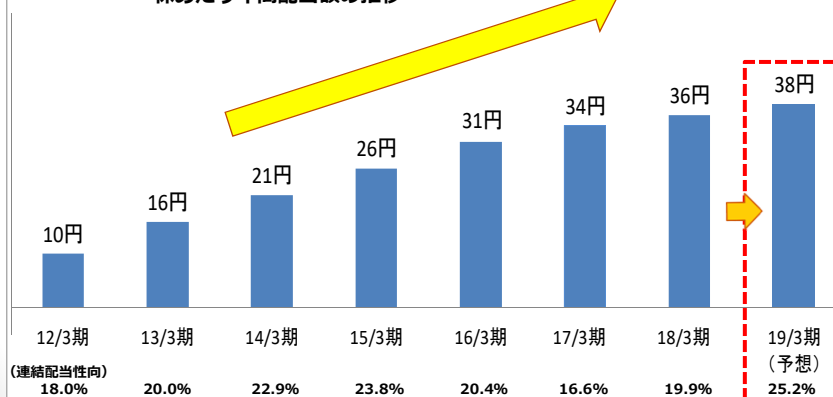
27

配当政策

配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

一株あたり年間配当額の推移



28



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く
本資料を複製・配布することを禁止します。